

第7回 2022年 キーパー技術コンテスト 全日本チャンピオン決定戦レポート

大白熱のレース!!3年分の努力と情熱を施工に込めて



全日本チャンピオン決定戦

10/13(木)・14(金)の2日間、Keeper 技研(株)本社にある中央トレーニングセンターにおいて行われた全日本チャンピオン決定戦。3年ぶりの開催に選手だけでなく、応援の方々も多く集まった。久しぶりに再開する選手もあり、和気藹々とした雰囲気ではじまった。準決勝の競技は新サービス「フレッシュキーパー」。1台を2選手が半分ずつ施工する。スタートが切られると空気がピンと張り詰める。たった一つの拭き残しや水滴が勝負を左右するハイレベルな戦いだ。51名のうち、決勝に残れるのは11名。結果、1位通過は2017年の全日本チャンピオンである安藤祐子選手。1つ水滴が残ったものの競技得点は169.0点。時間順位加点を加えて170.9点を叩き出した。11名中女性は5名。キーパーコーティングの技術は身体の大きさや力は関係ないことを物語っている。

翌日の決勝。前日に引き続き爽やかな秋晴れ。テレビ局や雑誌社の取材も入り、熱気ムンムン。決勝の競技は「ECOプラスダイヤモンドキーパー」。準決勝より1選手あたりにつき審査スタッフも増え、たくさんの注目を浴びる選手たち。技術力だけでなく、精神力や集中力も必要だ。しかし、ここまで来ると選手のスキルに大差はない。いかに早く、無駄なく、完璧にキレイにするか。まさにレースだ。結果は圧巻のポールトゥウィン、安藤祐子選手が2度目のチャンピオンを獲得した。悔しい思いをしている選手はいるだろう。しかし、すべての選手のお客様の車をキレイにしたい、喜んでほしい気持ちには平等だ。選手皆さんに、大きな拍手をお送りしたい。

決勝に進出した映えるファイナリスト11名の選手たち



安藤 祐子 選手 (株)三ツ輪商會
大山 奈津美 選手 (有)イマージン
大星 哲 選手 (株)矢崎商店
石井 丈 選手 ネクスエナジー(株)
平川 実愛 選手 (株)大野石油店
井後 椋太 選手 (株)ENEOSウイング
兼平 友 選手 (株)ENEOSウイング
高橋 美帆 選手 (株)ENEOSウイング
武井 征矢 選手 穴水(株)
久保 晃 選手 (株)ENEOSウイング
浅野 真広 選手 カメイ(株)



2回目の全日本チャンピオン

安藤 祐子 選手 170.0点
(競技得点168.0点 時間順位加点2.0点)
(株)三ツ輪商會 Dr.Drive南郷通店

緊張に打ち勝てるほど反復練習をし、「誰にも負けない!」という強い気持ちを持つ。

プレッシャーはありましたし、「出場せずにチャンピオンのままだった方がいいんじゃない?」と言われたこともありましたが、でも自分から出場することを決めました。ネガティブなことは考えず、「チャンピオンになる!」と言葉にして言い聞かせていました。子育てが大変で、なかなかコンテストの練習ができなかったので、お客様の車を施工している姿をひたすら動画で撮影しました。私のスマホはほぼ私の施工動画でいっぱいです(笑)。2017年にチャンピオンになった時と比べ、基本の動きから遠ざかっていました。自分なりにこうした方がいいのではと自分の形を作っていました。やはり基本が大事。初心にかえて動きを2017年の頃に戻しました。準決勝で1位を獲得しましたが、だからといって決勝で1位を獲得できるとは限りません。浮かれることなく、準決勝の反省を決勝に活かすようにしました。コンテストはもちろん緊張します。緊張して思うように施工できなかったということもよくあります。だから緊張に勝てるくらい、何も考えなくても身体が動くくらい、何度も何度も反復練習して、自信をつけることが大事だと思います。それに加えて今回感じたのは、選手の技術レベルが上がっているだけに「誰にも負けない!」という気持ちを持つこと。メンタル面での強さも大切だなと思いました。キーパーコーティングの施工は無駄がない動きの集大成です。とてもやりがいや楽しさを感じます。目標はお客様に喜んでいただくこと。それをいつも意識しています。

準優勝

石井 丈 選手 167.83点
(競技得点165.33点 時間順位加点2.5点)
ネクサエナジー(株) Dr.Driveセルフ岡山富田SS

スタートと同時に、施工に集中する。

2018年は予選落ち、2019年は岡山県5位。悔しい思いがあったからこそステップアップができたと思います。施工を教えてもらったばかりの時は「下手くそ」と言われ続けていました。本気で取り組むようになったのは先輩の岡崎さん(2018年岡山県チャンピオン)と同じ店舗で働くようになってからです。岡崎さんの動きを手本に、いろんな車、いろんな汚れを経験しました。今回のコンテストはプリウスが採用されるとのことだったのでプリウスで何回も練習をしました。スタートまではガチガチに緊張しましたが、スタートと同時に施工に集中し、周りは少しも気になりませんでした。キーパーコーティングが大好きです。どの作業よりもお客様が喜んでくださるからです。お客様の喜んでくだされば、もっと技術を磨こうと思う。技術が上がればもっとお客様が喜んでくれる。そんな良い循環をこれからも続けたいです。

3位

大山 奈津美 選手 166.33点
(競技得点165.33点 時間順位加点1.0点)
(有)イマージン キーパープロショップせき店

基礎の動きを大切に、いかに早く施工するか。

悔しさは全然ありません。3位になれたのも、全日本チャンピオン決定戦に出れたのも奇跡だと思っています。何よりも県チャンピオン1位から3位まで(有)イマージンの選手が獲得できたことがすごくうれしかったです!コンテストに向けて何かしたということは特にありません。ECOプラスダイヤモンドキーパーの施工方法を一度確認したくらいで、あとは普段どおり施工に追われていました。すごく緊張するの本当はコンテストは苦手なんですけど、出させていたでいるんだからベストを尽くすことを考えています。どうやったらうまくなるかですか?聞くと人間違えていると思います(笑)。でも2014年に初出場で予選落ちして、正しい施工を学んだ時から、ずっと基礎の動きを大切にしてきました。コンテストではいかに早く、基礎の動きを崩さずに施工できるかがポイントだと思います。

「第8回 2023年 キーパー技術コンテスト」の競技種目は、予選会:フレッシュキーパー、県チャンピオン戦:ECOダイヤ、全日本チャンピオン決定戦:EXキーパーを予定!!